

平成 27 年 12 月 22 日

鹿児島大学病院 眼科 で

シリコンオイル抜去術の治療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院眼科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 シリコンオイル抜去眼の残存シリコンオイルの新しい評価法と眼所見との相関に関する多施設共同後ろ向き研究

【研究機関】 鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科

【研究責任者】 坂本 泰二（眼科・科長）

【研究の背景】

シリコンオイル（SO）は通常難治性の網膜硝子体疾患の治療に用います。SO 注入眼では SO 抜去術後に眼内にわずかに残存した SO 粒子で緑内障などの合併症を起こすことがあります。現在までにどのような症例で SO 粒子が残存しやすいかは分かっていません。

【研究の目的】

SO 注入眼の SO 抜去術後に眼内に残留した SO 粒子量を術後の

超音波検査画像を解析することで数値化し、残存 SO 粒子量に影響する因子を後ろ向きに調査します。

【研究の方法】

SO 抜去術後に術眼に超音波検査を実施した症例を診療録の記載を基に調査します。超音波検査では SO 粒子は高信号で描出されるため、この高信号領域が眼球の容積に占める割合を数値化し、眼所見との関連を調べます。

●対象となる患者さん

平成 26 年 1 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日までに鹿児島大学病院眼科を受診し、SO 抜去術を行った患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

眼軸長、年齢、視力、眼圧、SO 留置期間、術中灌流量、眼底写真、OCT、超音波検査画像について通常の診療の際に得られた情報を利用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、公的研究費（厚生労働省科学研究費）で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 感覚器センター 眼科

科長 坂本 泰二

電話 099-275-5401 FAX 099-265-4894